

## (4)文化芸術について

西宮市では、様々な文化芸術活動が盛んに行われています。今後市が文化芸術施策を推進していくにあたり、文化芸術活動の現状、支援施策、拠点施設である西宮市民会館（アミティホール）についてご意見をお聞きます。

### ■文化芸術の、活動状況／鑑賞状況、活動場所／鑑賞場所

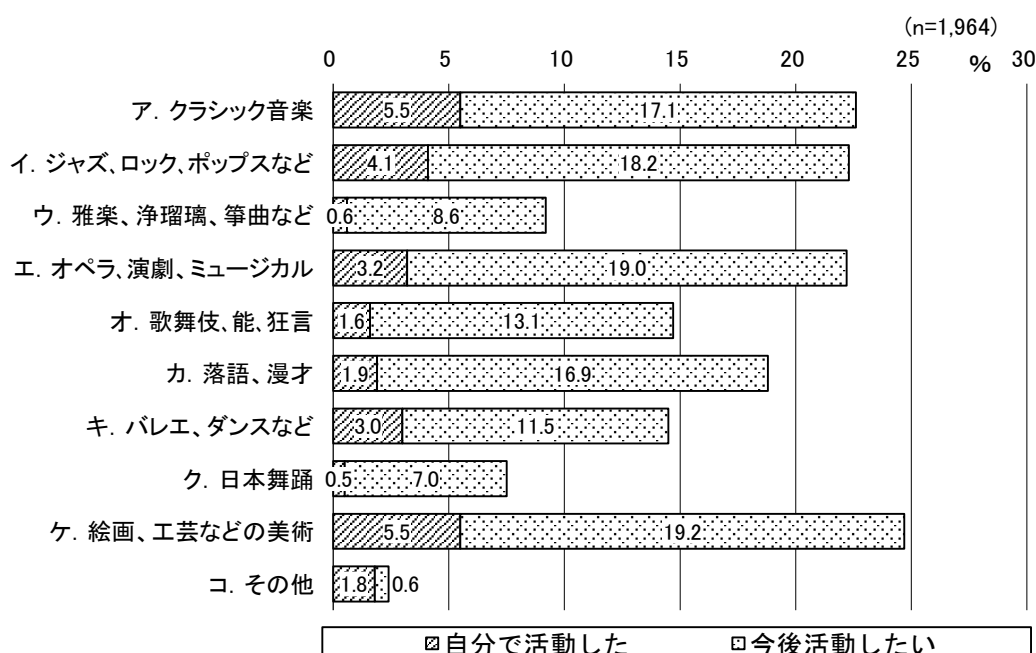
問 23 右表ア～コの文化芸術のジャンルについて、この1年間の活動状況ならびに鑑賞状況を以下より選んで右表の「①活動状況」「③鑑賞状況」欄に番号をご記入ください。

問 24 問 23 で「自分で活動した」「鑑賞した」と回答した文化芸術のジャンルについて主に活動・鑑賞した場所はそれぞれどこですか。右表の「②自分で活動した場所」「④鑑賞した場所」欄に、以下より頻度順に3つまでご記入ください。

美術や音楽のニーズは高く、多くの人が兵庫県立芸術文化センターを利用。

#### ①活動状況

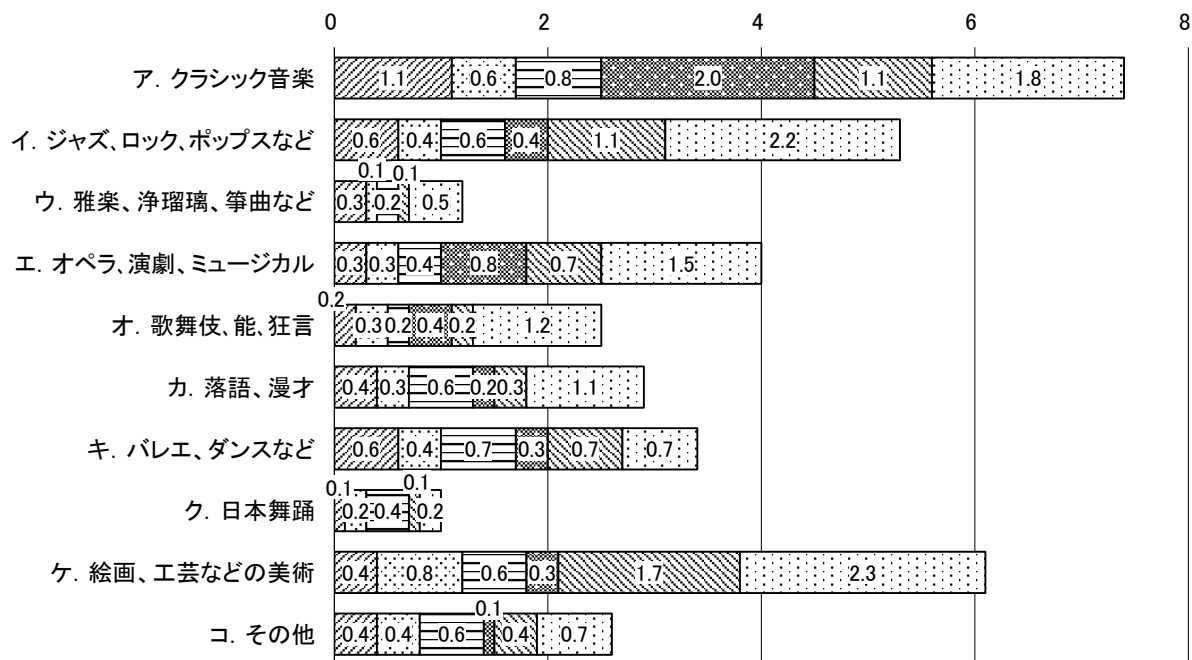
- ・「自分で活動した」とする割合は〈ア. クラシック音楽〉〈ケ. 絵画、工芸などの美術〉がともに5.5%で最も多い。
- ・「自分で活動した」と「今後活動したい」の合計値では、〈ケ. 絵画、工芸などの美術〉〈ア. クラシック音楽〉〈イ. ジャズ、ロック、ポップスなど〉〈エ. オペラ、演劇、ミュージカル〉の順で多い。



②活動場所(1番目～3番目を合計した)

- ・活動場所は、〈ア. クラシック音楽〉では「兵庫県立芸術文化センター」が、〈ケ. 絵画、工芸などの美術〉では「市外、県外のホール・ギャラリー等」が多い。

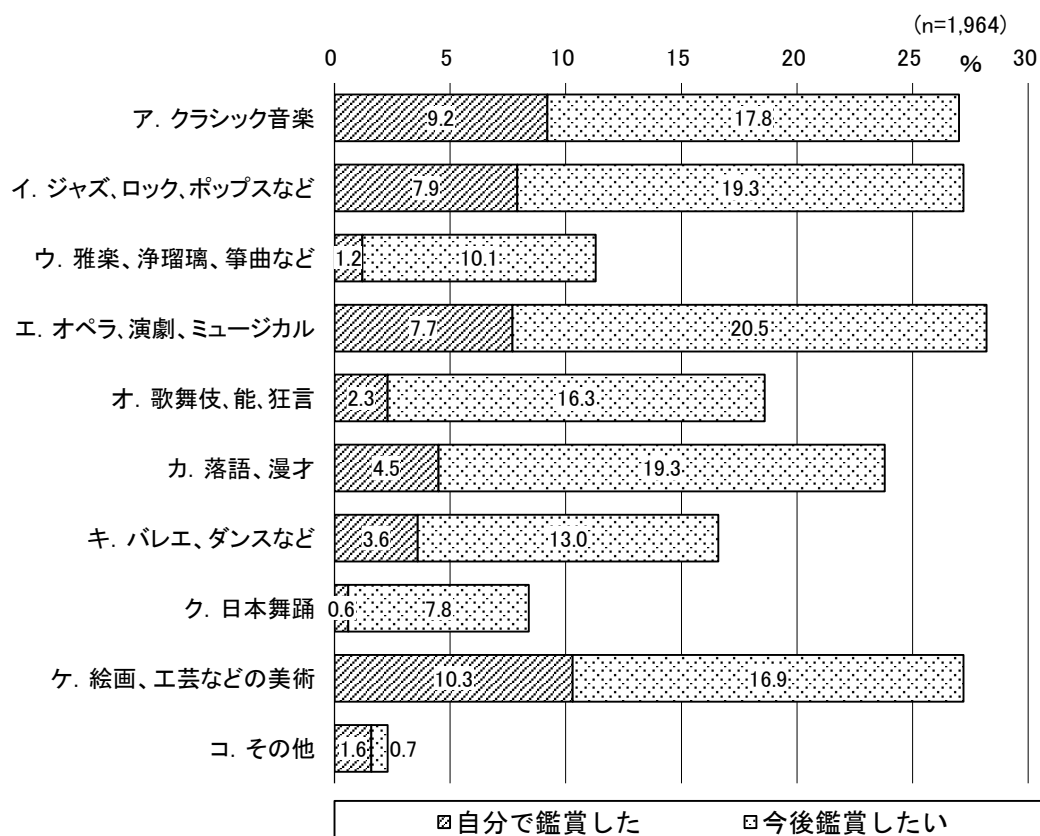
(n=1964)



- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| ☐市民会館 (アミティホール・ギャラリー等) | ☐その他市民ホール・ギャラリー   |
| ☐公民館・市民館等              | ☐兵庫県立芸術文化センター     |
| ☐その他阪神間のホール・ギャラリー等     | ☐市外、県外のホール・ギャラリー等 |

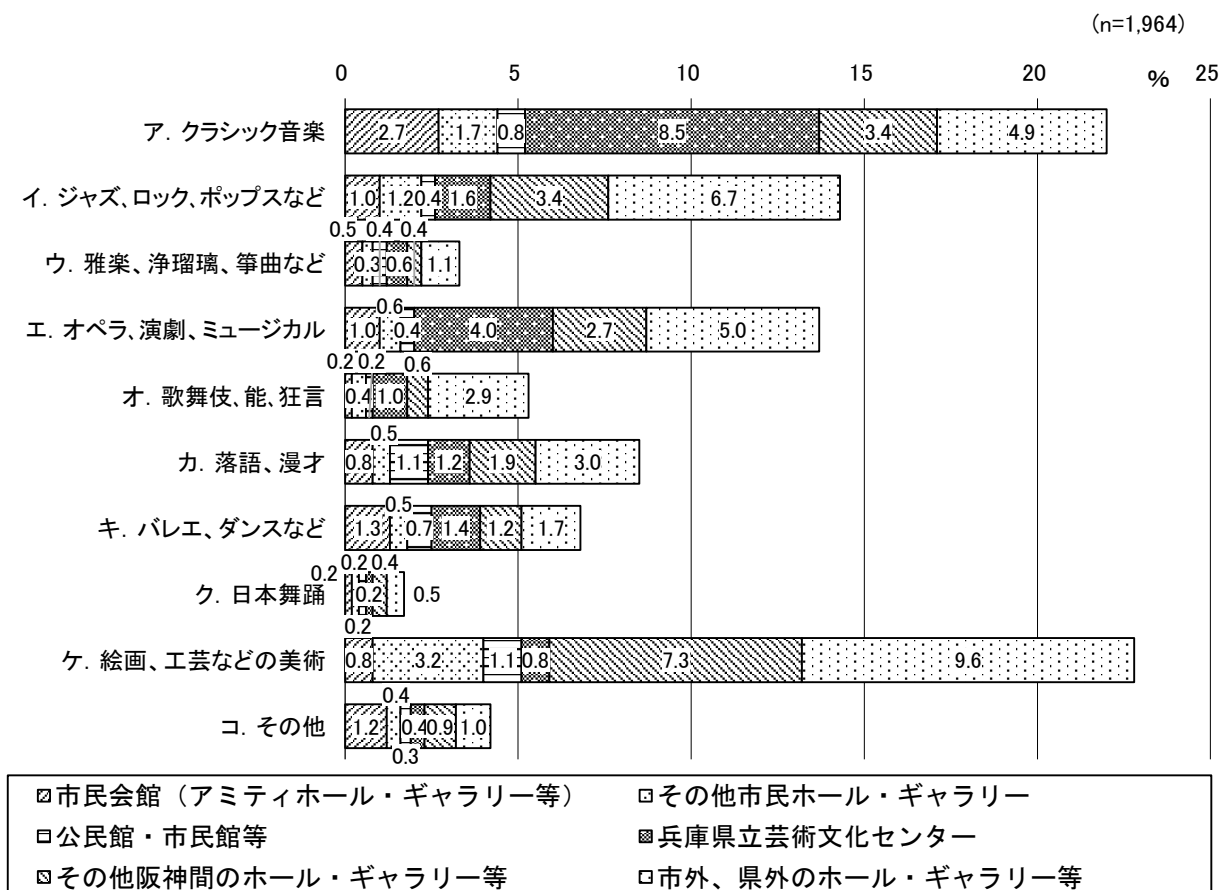
### ③鑑賞状況

- ・「自分で鑑賞した」の割合が最も高いのは〈ケ. 絵画、工芸などの美術〉(10.3%)、次いで〈ア. クラシック音楽〉(9.2%)、〈イ. ジャズ、ロック、ポップスなど〉(7.9%)、〈エ. オペラ、演劇、ミュージカル〉(7.7%)などであり、活動状況の傾向と似ている。「今後鑑賞したい」との合計値でもこれらが高い。



④鑑賞場所(1番目～3番目を合計した)

- ・鑑賞場所は、〈ア. クラシック音楽〉では「兵庫県立芸術文化センター」が、〈ケ. 絵画、工芸などの美術〉では「市外、県外のホール・ギャラリー等」が多く、活動場所と同様の傾向である。

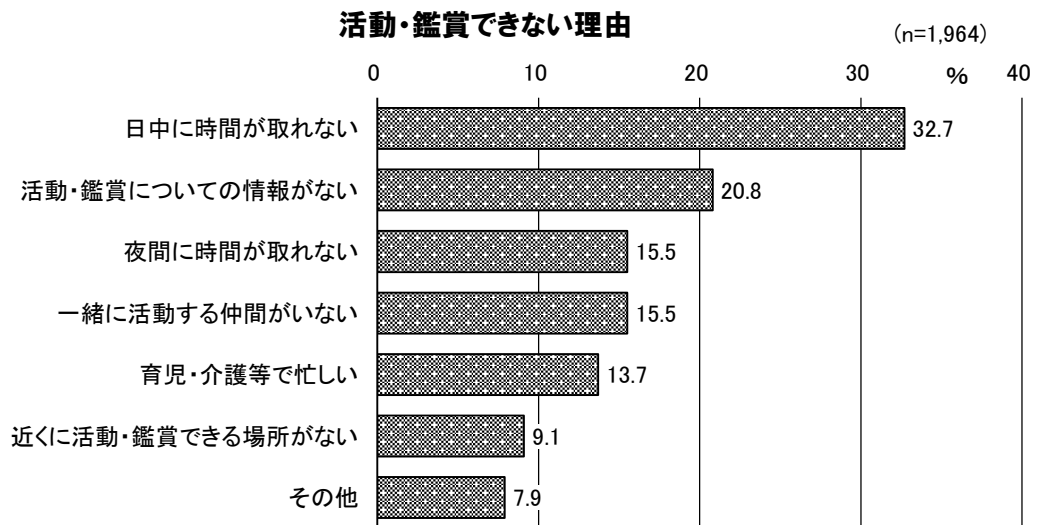


## ■活動・鑑賞できない理由

問 25 問 23 で「今後活動したい」「今後鑑賞したい」と回答した文化芸術のジャンルについて、活動・鑑賞したいけれどもできない理由は何ですか。(あてはまるものをすべて選んで○)

活動・鑑賞できない理由は、多忙であることを上げる人が多い。

- 文化芸術の活動や鑑賞を阻害する理由として「日中に時間が取れない」が32.7%で最も多く、「活動・鑑賞についての情報がない」(20.8%)がこれに次ぐ。



- 性・年齢別では「日中に時間が取れない」とする割合は、男性の59歳以下、女性の49歳以下で高い。「活動・鑑賞についての情報がない」は女性50～59歳で高く、また男性65～69歳がこれに次ぐ。「一緒に活動する仲間がない」は男女ともに20歳代が多い。

	い 日 中 に 時 間 が 取 れ な い	い 夜 間 に 時 間 が 取 れ な い	い 育 児 ・ 介 護 等 で 忙 し い	近 く に 活 動 ・ 鑑 賞 で き る 場 所 が な い	一 緒 に 活 動 す る 仲 間 が い な い	活 動 ・ 鑑 賞 に つ い て の 情 報 が な い	そ の 他
全 体(n=1,964)	32.7	15.5	13.7	9.1	15.5	20.8	7.9
男性 20～29 歳(n=47)	<b>51.1</b>	14.9	6.4	4.3	<b>27.7</b>	17.0	6.4
男性 30～39 歳(n=88)	<b>51.1</b>	<b>33.0</b>	<b>26.1</b>	9.1	11.4	22.7	9.1
男性 40～49 歳(n=116)	<b>46.6</b>	20.7	12.9	5.2	11.2	22.4	3.4
男性 50～59 歳(n=117)	<b>47.9</b>	23.9	5.1	6.0	12.8	26.5	4.3
男性 60～64 歳(n=62)	32.3	8.1	1.6	9.7	16.1	19.4	3.2
男性 65～69 歳(n=95)	16.8	6.3	2.1	14.7	13.7	30.5	4.2
男性 70 歳以上(n=157)	8.9	6.4	2.5	9.6	15.3	12.7	8.9
女性 20～29 歳(n=77)	<b>49.4</b>	15.6	20.8	6.5	<b>29.9</b>	26.0	5.2
女性 30～39 歳(n=166)	<b>45.2</b>	16.3	<b>41.6</b>	8.4	15.7	21.1	6.0
女性 40～49 歳(n=257)	<b>49.4</b>	24.1	<b>24.1</b>	9.7	14.8	19.5	9.3
女性 50～59 歳(n=179)	38.5	13.4	7.8	10.6	20.7	<b>31.3</b>	6.1
女性 60～64 歳(n=85)	30.6	14.1	15.3	10.6	11.8	21.2	10.6
女性 65～69 歳(n=110)	17.3	12.7	10.9	10.9	19.1	17.3	8.2
女性 70 歳以上(n=234)	6.4	5.6	3.8	10.3	11.1	12.0	14.5

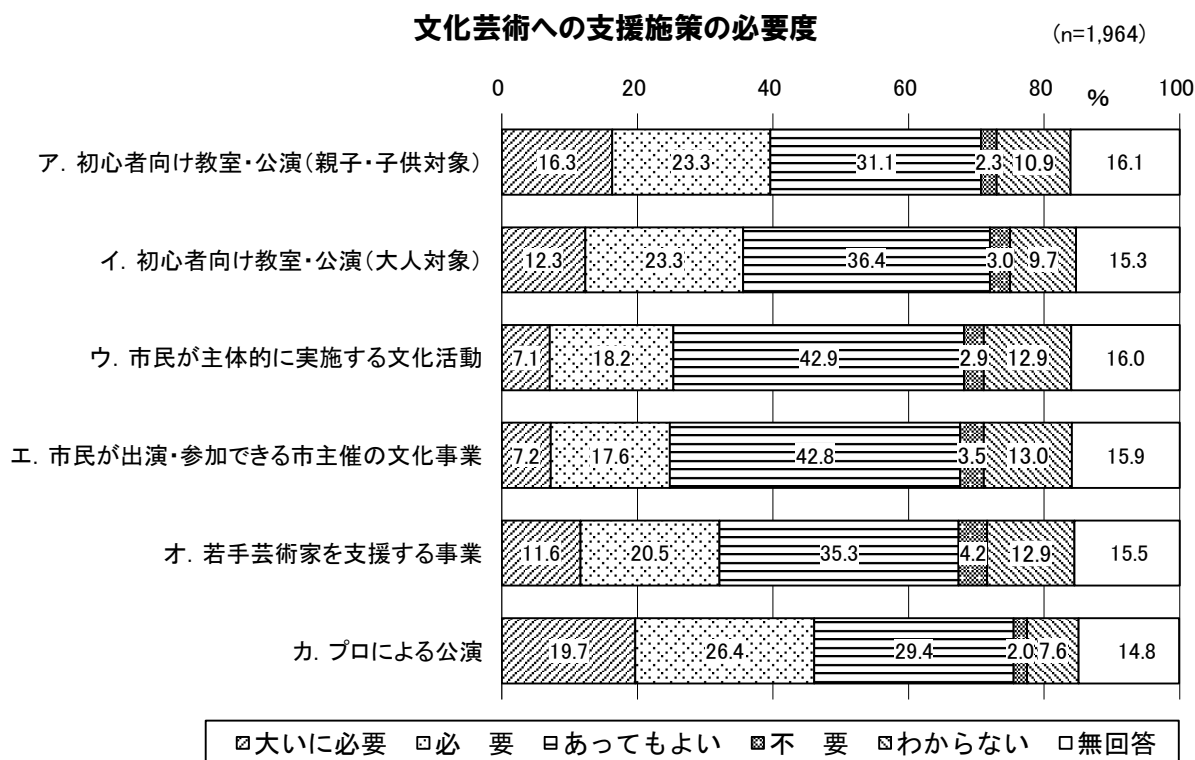
※数値の太字斜体は、全体を10ポイント以上上回るもの。

## ■文化芸術への支援施策の必要度

問 26 市の文化芸術への支援施策として、以下のそれぞれについて、1から5のあてはまるものに○をつけてください。

プロによる公演や初心者向け教室へのニーズが高い。

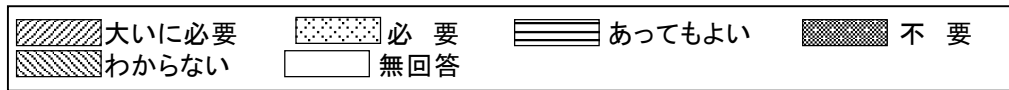
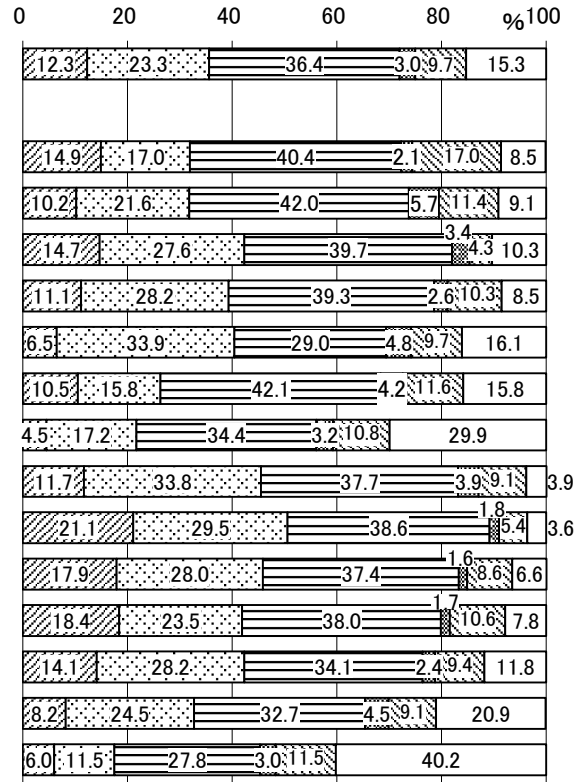
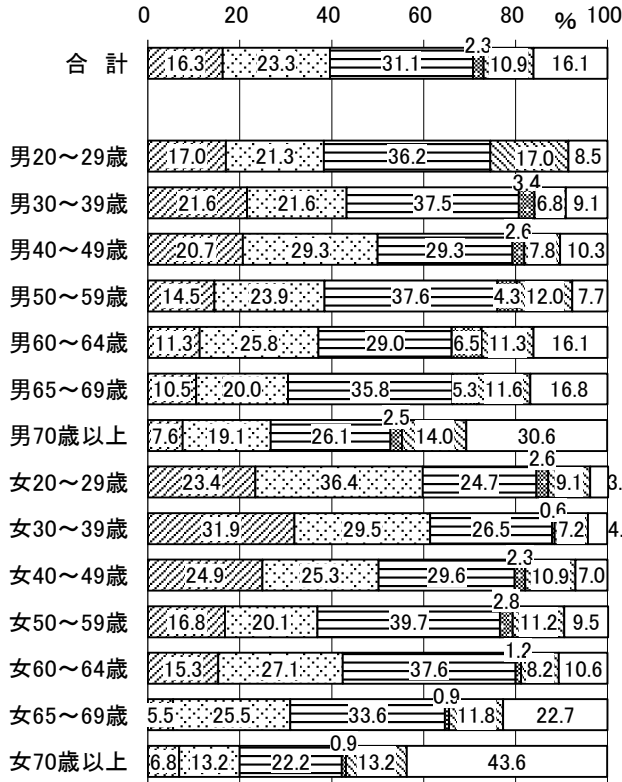
- ・支援施策が「大いに必要」とする割合が最も高いのは〈カ. プロによる公演〉(19.7%)で、〈ア. 初心者向け教室・公演(親子・子供対象)〉(16.3%)がこれに次ぐ。



- ・性・年齢別にみると、女性30～39歳で〈ア. 初心者向け教室・公演(親子・子供対象)〉〈イ. 初心者向け教室・公演(大人対象)〉〈ウ. 市民が主体的に実施する文化活動〉〈カ. プロによる公演〉において「大いに必要」とする割合が最も高くなっている。

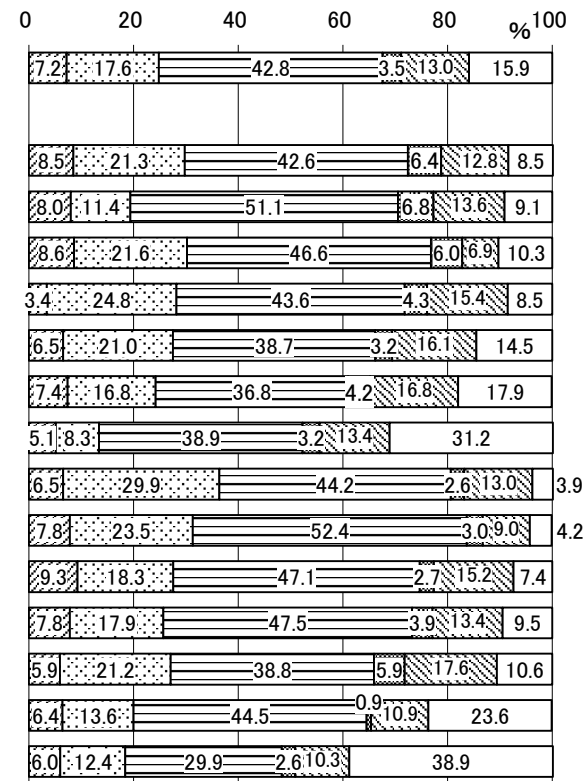
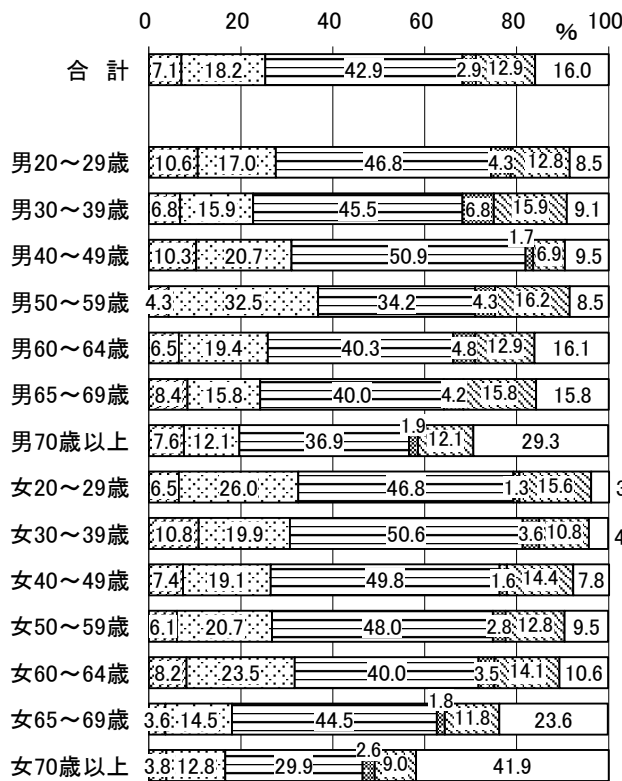
ア. 初心者向け教室・公演(親子・子供対象)

イ. 初心者向け教室・公演(大人対象)



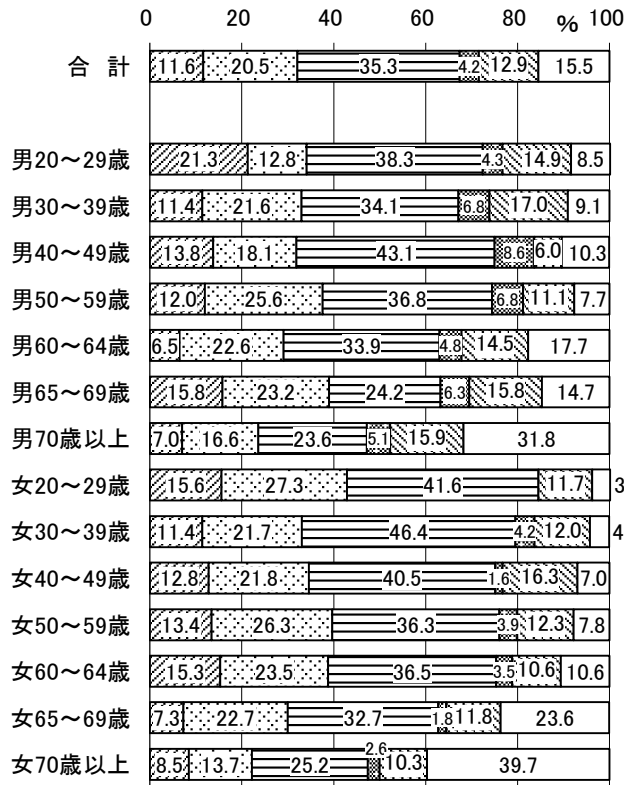
ウ. 市民が主体的に実施する文化活動

エ. 市民が出演・参加できる市主催の文化事業

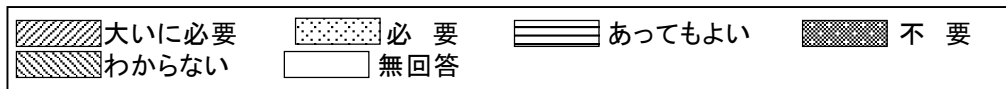
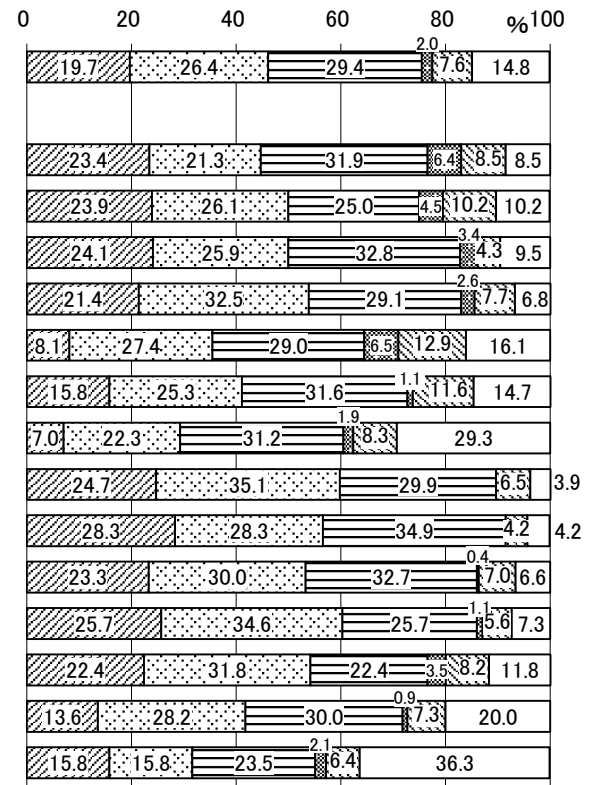




### オ. 若手芸術家を支援する事業



### カ. プロによる公演

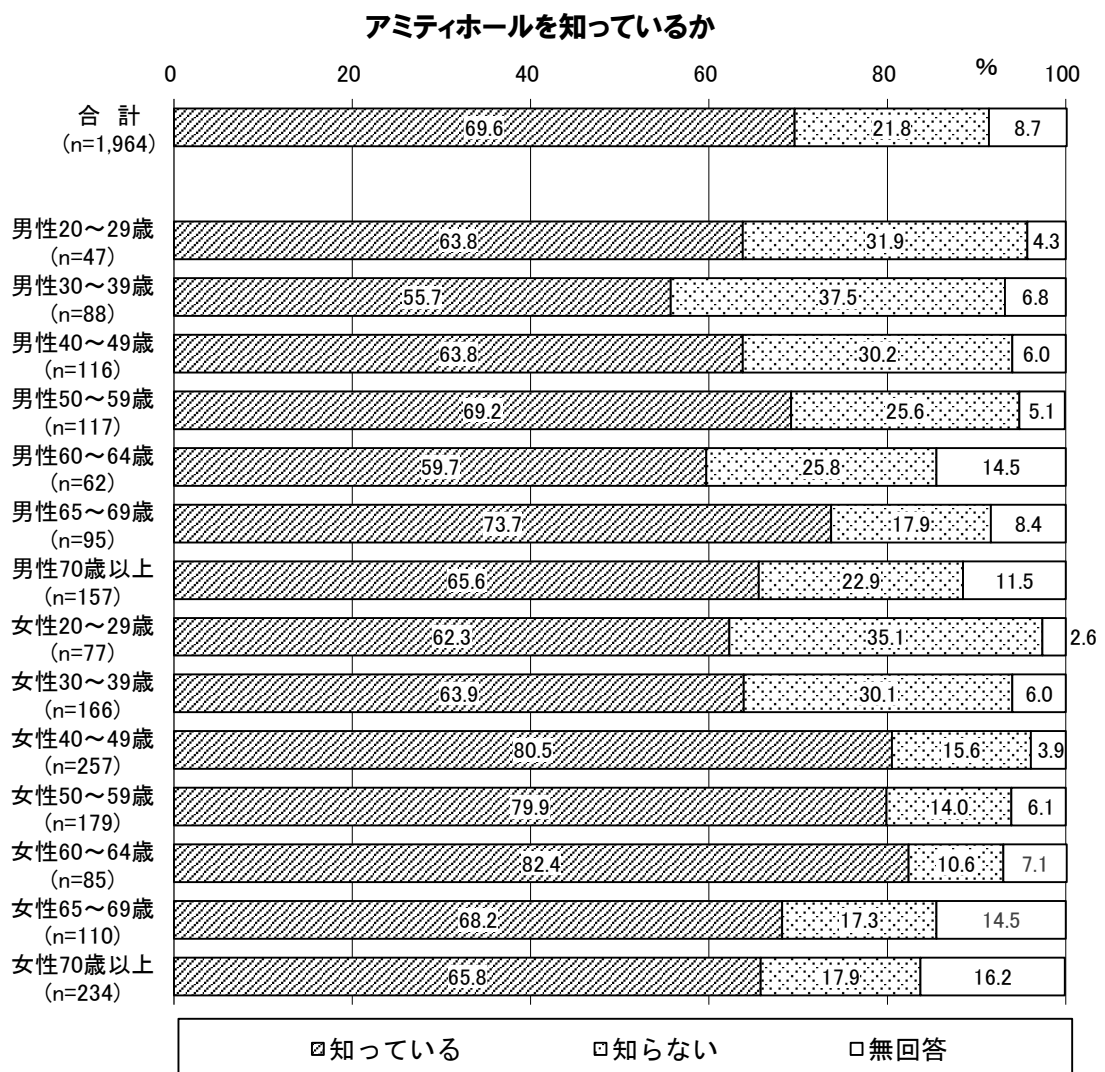


## ■アミティホールを知っているか

問 27(1) アミティホールを知っていますか。

アミティホールを知っている人は約7割。

- ・アミティホールを「知っている」とする割合は69.6%である。
- ・性・年齢別には、女性40～64歳の層でよく知られている。男性では65～69歳の割合が最も高い。

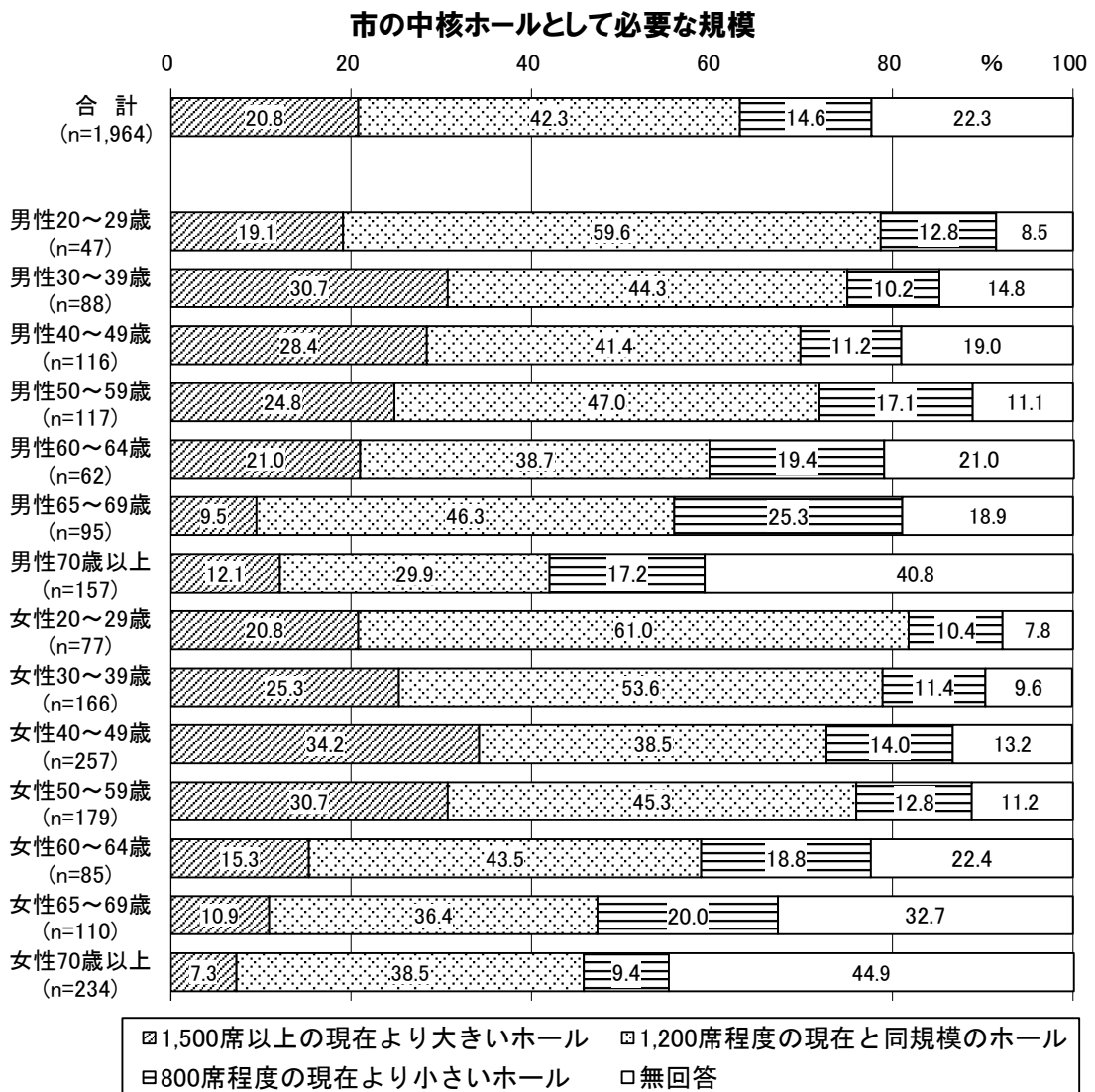


## ■市の中核ホールとして必要な規模

問 27(2) 市の中核となるホールとして必要な規模を以下から1つ選んで○をつけてください。

### 現在と同規模のホールへの支持が約4割。

- ・「1,200席程度の現在と同規模のホール」を支持する割合が42.3%で最も多い。
- ・「1,500席以上の現在より大きいホール」への支持は全体では20.8%であるが、女性の40～59歳、男性30～39歳では30%を超えている。

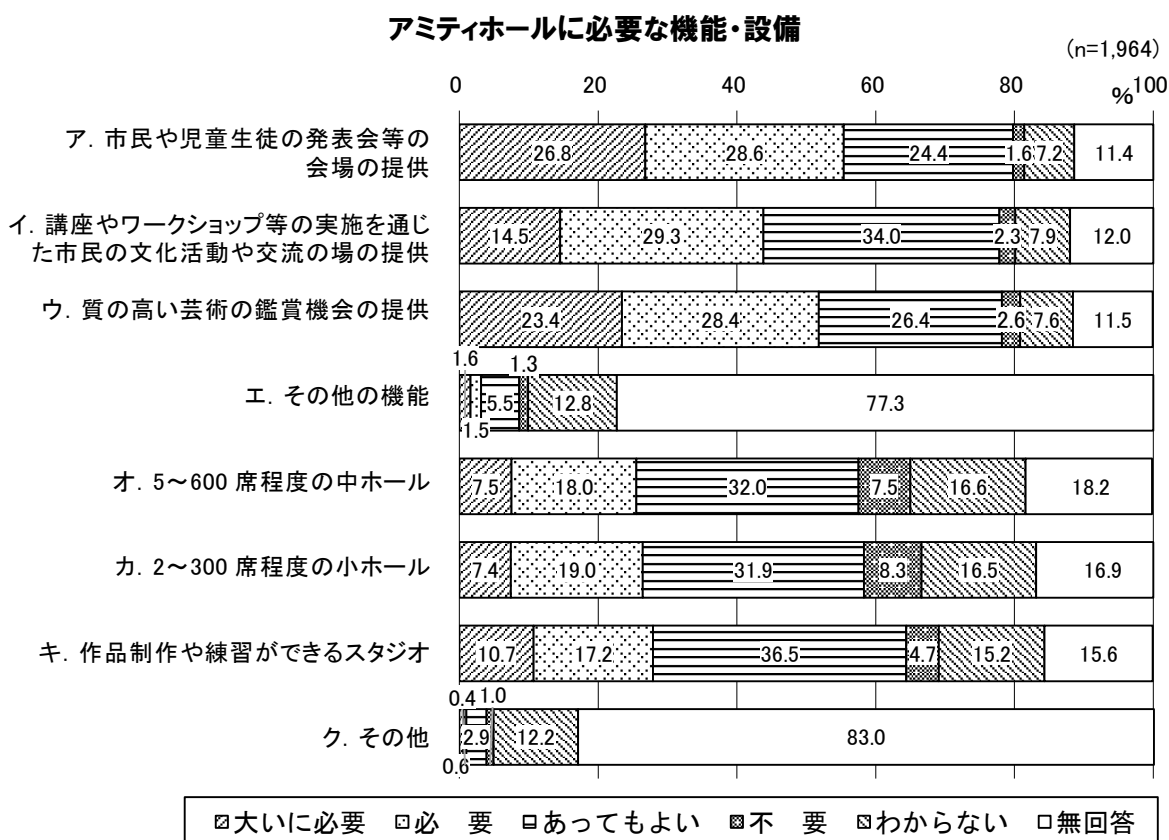


## ■アミティホールに必要な機能・設備

問 27(3) 市民会館(アミティホール)に求められる以下の機能、設備について、1から5のあてはまるものにそれぞれ○をつけてください。

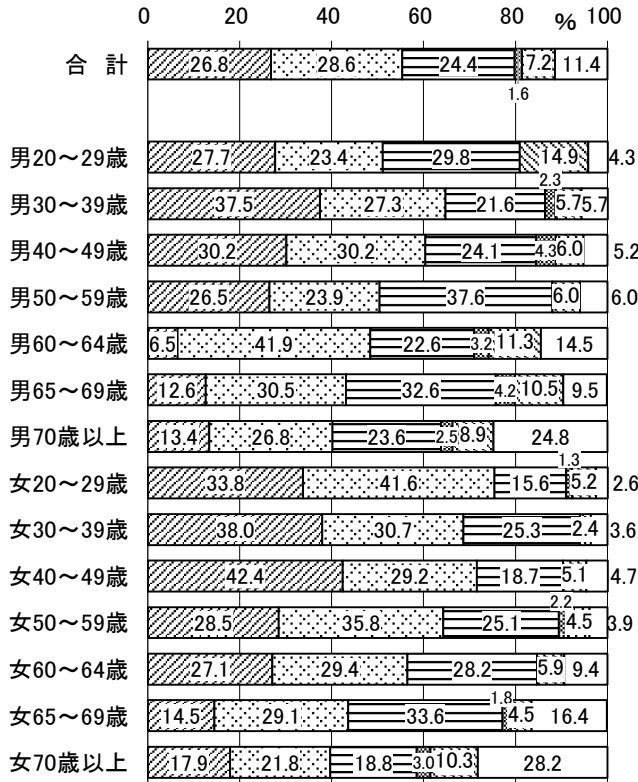
市民の発表の場ならびに芸術にふれる場として双方のニーズが高い。

- ・大ホールの機能で「大いに必要」とする割合が最も高いのは〈ア. 市民や児童生徒の発表会等の会場の提供〉(26.8%)である。〈ウ. 質の高い芸術の鑑賞機会の提供〉(23.4%)がこれに次いでいる。

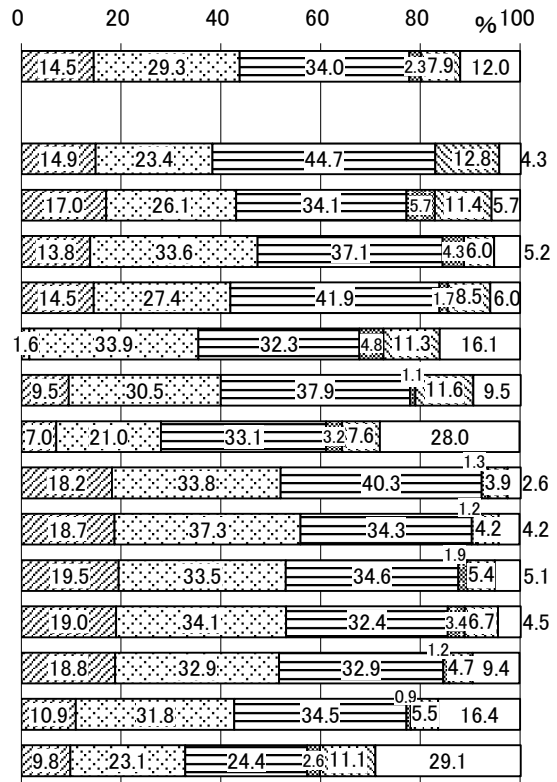


- ・性・年齢別にみると〈ア. 市民や児童生徒の発表会等の会場の提供〉については男性30～39歳、女性30～49歳で「大いに必要」とする割合が40%内外と高い。〈ウ. 質の高い芸術の鑑賞機会の提供〉については、女性の20歳代から64歳までの世代で高い支持を得ている。〈キ. 作品制作や練習ができるスタジオ〉の「大いに必要」とする割合は全体では10.7%であるが、男性20～29歳では25.5%と高い。

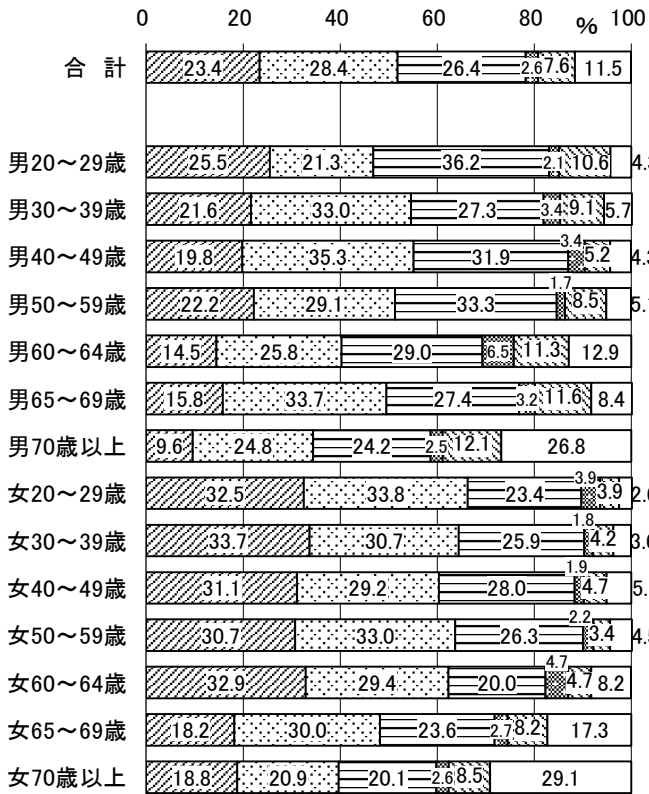
**ア. 市民や児童生徒の発表会等の会場の提供**



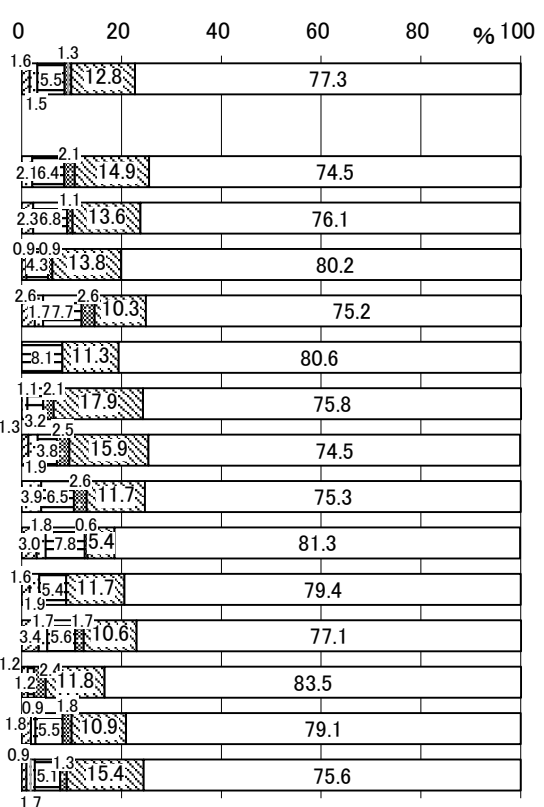
**イ. 講座やワークショップ等の実施を通じた市民の文化活動や交流の場の提供**



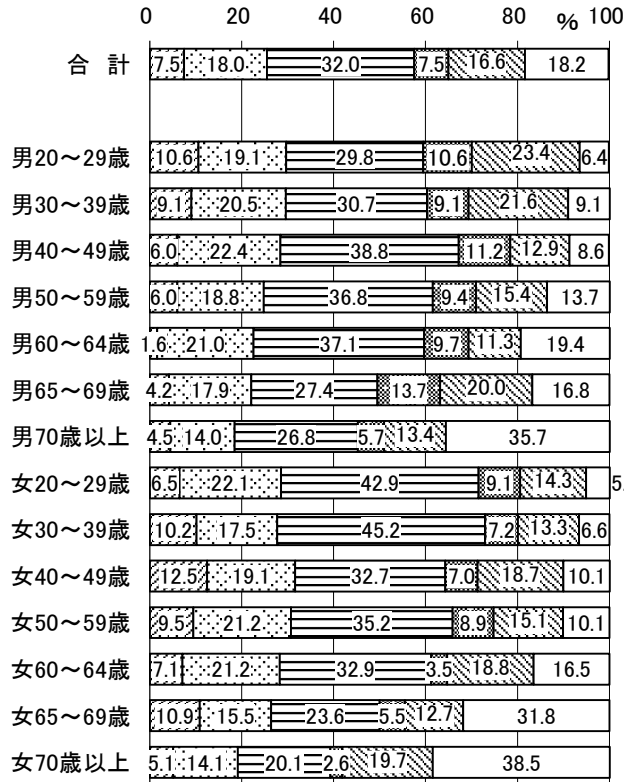
**ウ. 質の高い芸術の鑑賞機会の提供**



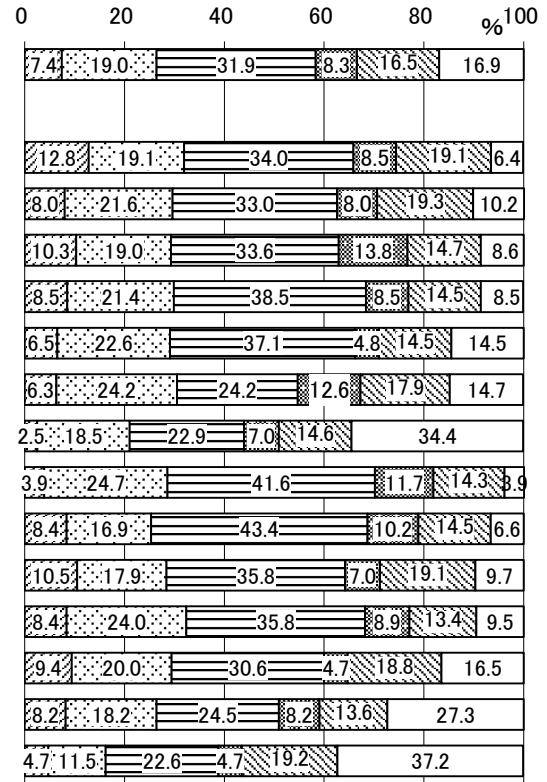
**エ. その他の機能**



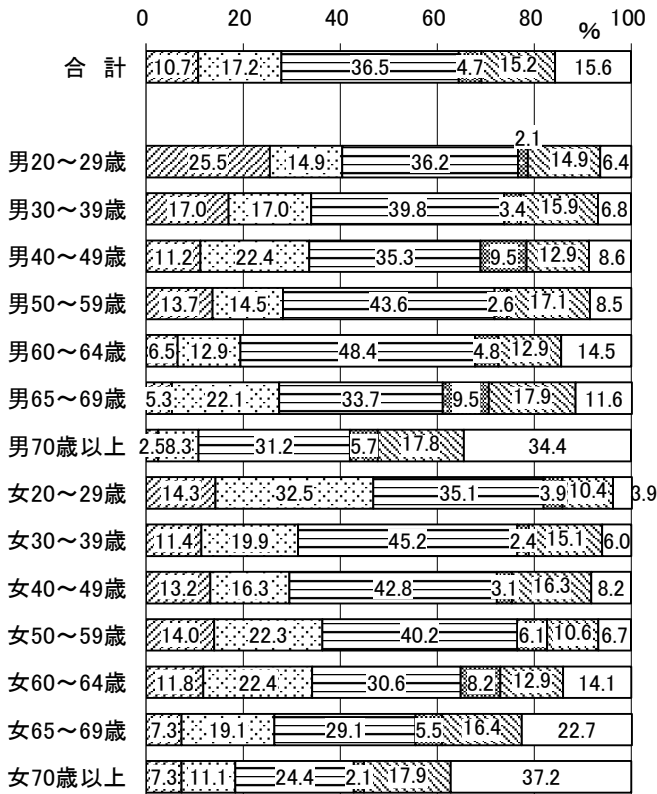
オ. 5～600 席程度の中ホール



カ. 2～300 席程度の小ホール



キ. 作品制作や練習ができるスタジオ



## 施策に向けての一言 <文化芸術について>

今回の調査では西宮市における文化芸術活動とその認知について尋ねている。問23では市民の「活動状況」と「鑑賞状況」について尋ねている。自身での活動を行なっている人は多くないようでどの項目も1割に満たない。最も高い値を示しているのが「クラシック音楽」と「絵画、工芸などの美術」だがそれでも5.5%に留まっている。ただ「今後活動したい」という人はある程度存在しており、「絵画、工芸などの美術（19.2%）」「オペラ、演劇、ミュージカル（19.0%）」「ジャズ、ロック、ポップスなど（18.2%）」「クラシック音楽（17.1%）」「落語、漫才（16.9%）」が比較的多い。

鑑賞においてもあまり割合は高くなく、最高が「絵画、工芸などの美術」の10.3%に留まる。今後鑑賞したい人の割合はやはりこれよりも高く「オペラ、演劇、ミュージカル（20.5%）」「ジャズ、ロック、ポップスなど（19.3%）」「落語、漫才（19.3%）」「クラシック音楽（17.8%）」「絵画、工芸などの美術（16.9%）」「歌舞伎、能、狂言（16.3%）」などが目につく。

活動や鑑賞がしたくてもできないではあるには何等かの理由がある。問25はその理由について尋ねている。基本的には多忙であるということだが、中でも「日中に時間が取れない」という回答の割合が32.7%と最も高い。これらの活動や鑑賞は余暇活動であるから致し方ない部分もある。これに次ぐ高い割合で理由として挙げられているのは「活動・鑑賞についての情報がない（20.8%）」というものであるから、この点においては改善の余地があるかもしれない。

問26は市による支援施策について尋ねている。相対的に高い必要度が認知されているのは『プロによる公演（「大いに必要（19.7%）」「必要（26.4%）」）、『初心者向け教室・公演（親子・子供対象）（「大いに必要（16.3%）」「必要（23.3%）」）、『初心者向け教室・公演（大人対象）（「大いに必要（12.3%）」「必要（23.3%）」）』である。

問27はアミティホールに関するものである。アミティホールそのものへの認知を問うているのが（1）で、回答によれば約7割の市民が知っている。（2）ではホールの規模について尋ねている。回答は現在の規模を支持する割合が42.3%と最も高いが、20.8%の回答はさらに大きいホールを希望している。このような希望は40代の女性において相対的に高い（34.2%）。（3）は市民会館（アミティホール）に求める機能について尋ねている。「市民や児童生徒の発表会などの会場の提供」については「大いに必要」が28.6%、「必要」が26.8%、「質の高い芸術の鑑賞機会の提供」については「大いに必要」が23.4%、「必要」が28.4%、「講座やワークショップ等の実施を通じた市民の文化活動や交流の場の提供においては、「大いに必要」が14.5%、「必要」が29.3%となっている。また中ホール、小ホール、制作スタジオについての需要も4分の1以上の回答によって示されている。

今後、西宮市における文化芸術活動の振興策、並びにその拠点としてのアミティホールや市民会館の建て替えなどを検討する際には、討議型世論調査などを行なうと市民の理解と満足度を高めることができるかもしれない。

（関西学院大学 山田真裕）